



一般社団法人地域連携ネットワークみえ
三重県伊勢市御園町長屋 1963 番地
TEL0596-63-5080 FAX0596-65-7006

新年あけましておめでとうございます

昨年は、第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が始まり地方創生の動きを更に加速させていく年でありましたが、新型コロナウイルス感染というかつてない事象に追われる年でもありました。



県民ならびに経済活動を展開されている皆様には極めて厳しい状況にあったと心痛の思いであります。

こうした中であって、地域に集う個人も自治体も企業・団体も総ぐるみで助け合っているという貴組織の精神はまさしく地域の理想のカたちだと考えます。

今年は、伊勢志摩サミットから5年の節目を迎えます。この記念すべき年に、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの熱気と感動をつなぐ「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」、また太平洋島しょ国首脳が三重の地で一堂に会す「第9回太平洋島サミット」が開催されます。

地域の皆様がこぞってそれぞれの大会を成功裡に導いていただくことで本県の結束の力が示され、ひいては今の難局を乗り越えることができる証であると信じています。

県民の皆様お一人おひとりの幸福実感の向上と貴組織の益々のご活躍を祈念して新年のごあいさついたします。

令和 3 年元旦

三重県知事 鈴木英敬

新年を迎え謹んでお慶びを申し上げます

旧年は、新型コロナウイルス感染というこれまで私たちが経験をしたことのない出来事が世界中を席捲いたしました。

皮肉なことに、これにより「ひと・まち・しごと創生総合戦略」の懸案である東京一極集中問題を見直し地方で活躍していく術をみんなが真剣に考えるようになったと思います。

まだまだ、予断を許さぬ状況ではありますが、今こそ地域に生きる人々の相互扶助によって持続可能な暮らしのために力を合わせていく時です。

引き続き当社団の活動理念をカタチにするためご理解をお願い申し上げます。

令和 3 年元旦

一般社団法人地域連携ネットワークみえ役員一同

2021年に向かって

コロナ感染症は我々が築いてきた社会を破壊しようとしています。人と人の絆を壊し、社会のありようを変えようとしています。行動は大きく制限され、人と人のコミュニケーションもままならぬ事態となりました。



顧問 内田淳正

個人が自らの行動を変容できるかが試されています。例えば巣ごもり状態で、仕事場中心の作業を自宅で効率よくこなすことができる人がどのくらい存在するのでしょうか？ 国も積極的にテレワークを推奨していますが、それに応えられる社会のリーダーたち、例えば政治家、経営者では多数いるようには思えません。比較的対応しやすい大学教職員でもキャンパス内の自らのオフィスでの作業が中心ではないでしょうか。大学構内には学生の姿を見ることは稀ですが、教員室や事務室の電気は明るく、人がいることが明瞭です。特に私などは大半の作業を自宅でこなすことが可能ですが、慣れないためか全くはかどりません。そのうえ、妻からは迷惑がられて結局は大学内の研究室や大阪のオフィスに出かけることになる始末です。

自らを変えることの難しさを痛感していますが、しかし変えなければなりません。

地域再生には地域自らが変化しなければなりません。コロナ対策の現状を見ると地方からの声は上がりますが、地方独自の取り組みは稀です。地方の存在感はお寒い限りです。何事も政府頼みでなければことが進まないようです。明治維新後中央集権国家として突き進んできたわが国は独立した地方は存在しなくなっていました。

江戸時代の幕藩体制を取り戻すチャンス到来です。

現在の三重県は藤堂藩、桑名藩、紀州藩をはじめ多くの藩に分かれて、それぞれが独自の産業や文化を育んできました。それに加えてお伊勢さんは日本の産業の情報発信の拠点でした。

もう一度その時代を思い出しましょう。

2021年が地域再生の新時代となることを願って。

